

「台東区町会連合会との語る会」

《 浅草橋地区町会連合会 》

日時：11月5日（金） 午前11時から（会 場：浅草橋区民館）

◇コロナ禍における区の対策について

質問	回答	対応
<p>台東区では、近年国内外からの観光客、来訪者が増加し、宿泊業、小売業、飲食産業等の拡大が見られていましたが、その分、今回の新型コロナウイルス感染症の流行で受けた影響は計り知れず、大幅な税収の落ち込みが危惧されます。</p> <p>今後の税収減に対する区の対応、対策について、どのようなお考えをお持ちか伺います。また大きなダメージを受けた中小企業や、サービス産業への具体的な経済支援策等はあるのでしょうか。</p>	<p>区では国や都の補助金などの相談に応じる「特別相談窓口」や、中小企業診断士が経営相談を行う「緊急経営相談ダイヤル」の開設のほか、感染症の影響を踏まえた新たなビジネスに取り組む経費の一部を助成する「新ビジネスチャレンジ支援」や、中小企業者の返済負担の軽減を目的とした「新型コロナウイルス感染症対策借換特別資金」の融資、業況が悪化した事業者に資金繰りを支援する「経営持続化特別資金」も実施しています。</p> <p>また、区内で活躍する事業者の皆さまに会って商品に触れ、サービスを体感できる「産業フェア」では展示商談会を開催しました。</p> <p>11月1日には旅行会社と連携協定を結び、伝統工芸職人の工房や老舗飲食店の厨房などの撮影を行う旅行商品など、広く地域資源の周知を図れるような新しい取り組みも始めました。</p> <p>今後も、地域経済の活性化に努めてまいります。</p>	<p>○</p>

◇避難所の運営について

質問	回答	対応
<p>大地震が発生した場合の初動対応や、役割分担が明確になっていないのが実情です。今年度から「台東育英小学校」の改修工事が始まるため、避難所が「浅草中学校」に変更になると聞いていますが、避難所運営委員会との連携、連絡が行われていない状況で大丈夫でしょうか。</p> <p>災害はいつやってくるかわかりません。きちんと備え、安心して安全な生活を守るために、避難方法や初動対応について区からわかりやすい説明と指導をお願いします。</p>	<p>台東育英小学校の改修工事に伴い、今年9月から令和5年12月まで、「台東育英小学校」から「浅草中学校」に変更させていただきます。</p> <p>浅草中学校の避難所運営委員会において、運営方法や避難訓練の合同実施等、ご相談させていただきます。</p> <p>また、新型コロナウイルスの感染症対策として、マスクやフェイスガード、アルコール等の除菌剤、体温計の備蓄を行いました。感染症対策の物品内容についても、引き続き避難所運営委員会等にご相談させていただきます。</p>	◇

◇浅草橋駅周辺まちづくりについて

質問	回答	対応
<p>昨年も浅草橋駅周辺地域の開発問題や対策について質問し、令和3年度中にまちづくり協議会の設立を目指すとご説明いただきました。</p> <p>一方、その後の調査で、都内各所で大規模な地域再開発事業が進められていることを知りました。東京都の地域再開発事業一覧によると、千代田区・中央区を始め台東区を除くほとんどの区で地域の再開発が進んでいることを知りました。</p> <p>総武線沿線では平井五丁目駅前に地上29階建ての住宅を含む商業ビルが、また、JR小岩駅北口に地上31階建ての住宅を含む商業ビルの建設が進行中です。完成すると、浅草橋の相対的魅力が低下するのではないかと危惧しています。</p> <p>台東区内で現在進行中の再開発案件があれば概略をご説明いただくとともに、地域再開発の必要性についての区のお考えをお聞かせください。</p>	<p>浅草橋駅周辺のまちづくりについては、昨年度、地域の町会長の皆さまを中心に、区が考えるまちの課題と方向性（案）を共有させていただきました。</p> <p>今後、さらに地元のニーズに即したまちづくりを展開していく必要があるため、現在、各町会を中心に、地域の方を主体としたまちづくりの勉強会設立の準備をしています。</p> <p>勉強会では、まちの課題解決の最適な手法についても議論していきたいと考えています。そして、勉強会を通し、地域のまちづくりに対する機運を図ってまいります。</p> <p>今後も皆さまの考えを聞き、周辺のまちづくりの動向を見ながら、地域の特色を生かした魅力あるまちづくりを進めてまいります。</p>	—

◇シニアクラブの運営について

質問	回答	対応
<p>課題の1つとしてシニアクラブ運営の問題があります。地域全体の高齢化に伴い会員の構成は平均年齢80歳を超え、今後もその上昇は避けられません。</p> <p>高齢化に伴い活動内容も自ずと制約され、限られた活動の中で会員が楽しみにしていることは茶話会など飲食を伴う会合です。お茶を飲みながら近況を話し合ったり、コミュニケーションを図ったりすることは、認知症予防、介護予防の観点からも重要な活動と考えていますが、助成金の使途として会食・飲食に関わる費用の支出が認められていません。</p> <p>また、会長の渉外費・旅行経費などの支出が助成金で認められておらず、全てが会長個人の負担となっています。他のシニアクラブの会長との懇親を深め、情報収集や相互理解を図ることは重要な活動です。助成金の使途について、実態に即した見直しをお願いします。</p> <p>そして、助成金交付申請書類についても見直しを検討していただきたいと考えています。現状の提出書類は、「事業実績報告書」「収入支出決算書」「収入支出予算書」「年間事業計画書」「会員名簿」「銀行口座通帳コピー」等多岐にわたっています。それぞれの書類を「社会奉仕活動」「健康を進める活動」「生きがいを高める活動」「その他の社会活動」と分類して記載しなければならず、事務手続きが煩雑で高齢の会計担当者の大きな負担となっています。もっと簡潔に、わかりやすい手続きにできないでしょうか。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の流行下で活動に制限があるなか、社会奉仕活動や健康増進活動等、様々な形で区の取り組みにご協力いただいています。</p> <p>シニアクラブの皆さまが引き続き心身の健康を維持できるよう、健康体操のDVDを無償で配布することもできますので、ぜひ活用していただければと思います。</p> <p>助成金については、都からの補助金を一部利用していることから、使途について都の基準があります。使途や申請書類について、台東区シニアクラブ連合会役員の方々と相談しながら見直してまいります。</p> <p>申請書類の作成についてはお手伝いなども行っていますので、担当の健康課までご相談いただきたいと思います。</p> <p>※台東区シニアクラブ連合会常任理事会で、助成対象となる使途や、申請書類に関する意見聴取を行いました。今後も常任理事等に意見聴取や相談を行ってまいります。 (健康課)</p>	<p>○</p>